

泰花

日野市立日野第四中学校 学校便り

令和6年 4月 25日発行

校長 小島 幸子

〒191-0065 東京都日野市旭が丘2-4-2

TEL042-583-3905 fax042-583-3915

『教科担任制を大いに活用し、 充実した中学校3年間の生活を』

日野市立日野第四中学校
校長 小島 幸子



新年度が始まりました。初々しい一年生、後輩ができ上級生としての自覚が強くなった二年生、学校のリーダーを意識しながら頑張る三年生。少しずつ緊張から解放され、学校全体に活気が出てきたように感じる今日この頃です。これからの成長がとても楽しみです。

さて、今回は「教科担任制」について、今一度、考えてみましょう。とくに一年生の保護者の皆様、生徒の皆さんに向けてお伝えします。

中学校では教科ごとに教える先生が異なります。その利点は、

- ・中学校になると教科の専門性が高くなる
- ・一つの教科をより深く工夫して教える
- ・たくさんの先生が関わり、生徒たちの良さを見つけ、引き出す。
- ・様々な先生の個性に触れることができる

などが挙げられます。



中学校の先生は、自分の教科について日頃から学んだり、研究したりしています。皆さんが、授業以外の興味や関心があるのなら、そのことについても専門の先生に質問をして、多くのことを学んでください。

また、勉強や進路などについて悩んだり迷ったりするときには、ぜひ担任の先生だけでなく、教科担任の先生、部活動の顧問の先生など誰にでも相談をしてください。この先生と話をしたい、話を聞いてもらいたい、悩みや苦しい気持ちを聞いてもらいたいときには、あなたが話を聞いてほしい先生のところに行ってください。そのような先生が見つけれられるのも「教科担任制」の利点です。保護者の皆様も生徒の皆さんも大いに学校の先生の力を活用し充実した3年間で過ごしてください。

保護者・地域の皆様

令和6年度の教育活動が始まりました。保護者・地域の皆様、数えきれないほどの多くの人々の願いや思いが今に繋がっています。歴史と伝統のある日野第四中学校で育つ一人一人に生徒が、より豊かな人へ成長を遂げ、社会で自立して生きていくことのできる力を身に付けられるよう、全校生徒・教職員・保護者・地域が一丸となって、よりよい日野第四中学校を築き上げてまいります。今年度もよろしくお願いいたします。

令和6年度教職員一覧

校長 小島 幸子

副校長 仙波 貴臣

【第1学年】

学年主任 飯川 あすか

1 組 飯川明日香（美術）
2 組 菊池 健介（理科）
3 組 松岡佐知子（英語）
4 組 高村 敏之（英語）
5 組 牧野 翔太（技術）
副担任 石川 惟（数学）
副担任 谷口 亜衣（国語）
副担任 小室 稔幸（社会）
学年付 宮内麻衣子（養護）

【第2学年】

学年主任 野澤 豊

1 組 平田 晴信（数学）
2 組 野見山佳奈（数学）
3 組 田畑 琴琉（英語）
4 組 田村 美嘉（保体）
5 組 福岡 海（英語）
6 組 野澤 豊（社会）
副担任 山口 まり（国語）
副担任 三木 美紀（音楽）
副担任 高橋 宏毅（理科）

【第3学年】

学年主任 中山 珠真実

1 組 和田 大希（数学）
2 組 田中 久美（保体）
3 組 高橋 豪（英語）
4 組 柳瀬なつみ（国語）
5 組 中濱 健（保体）
副担任 田端 真也（理科）
副担任 中村 真（数学）
副担任 中山珠真実（家庭）
副担任 和田 隆（社会）

都事務 伊藤 正紀 事務補助 安田 歩 用務主事 高橋 幸男 スクールサポートスタッフ 岡 由美子
栄養士 塚田 美香 副校長補佐 陰山 佳子 都スクールカウンセラー 松井 範恵 市スクールカウンセラー 岩崎 厚子
学校司書 大和田 裕子 図書協力員 寺田 和子・石原 康絵 特別支援専門員 中島 和夫
ステップ教室 中島 一球・高橋 悠（市内第二中より） リソースルーム 鈴木 晴敏 ふらっと 土屋 朋恵
学習教室 武藤 美厚

教職員の異動

【転出等】

○副校長	小村 英樹	日野市立三沢中学校へ
○主任教諭	鈴木 理香	昭島市立福島中学校へ
○再任用主任教諭	船田 博	退職
○教 諭	高野 英人	退職
○教 諭	遠藤 祐哉	練馬区立石神井西中学校へ
○教 諭	高橋 景美	日野市立日野第四小学校へ
○教 諭	徳田 大俊	神津島村立神津中学校へ
○教 諭	古川 穰	国分寺市立第一中学校へ
○臨時的任用教諭	田村友理奈	板橋区立高島第三中学校へ

【転入】

○副校長	仙波 貴臣	日野市立日野第一中学校より
○主任教諭	山口 まり（国語）	武蔵村山市立第三学校より
○教 諭	宮内麻衣子（養護）	産育休明け
○教 諭	石川 惟（数学）	調布市立神代中学校より
○教 諭	和田 隆（社会）	新規採用



入学式において、「新入生の言葉」を生徒代表の廣瀬さんが力強い決意を、「在校生の言葉」を生徒代表の藤原さんが優しく包み込むようなメッセージを発表してくれました。

新入生の言葉

新入生代表 廣瀬 瑚羽さん

充実した小学校生活があったという間に終わり、胸が高鳴る人生の新たな1ページとなる中学校生活が今、始まろうとしています。そんな胸が高鳴る中学校生活で、私が積極的に取り組みたいことは三つあります。

一つ目は、小学校で学んだ内容を進化させた授業、勉強です。中学生になると、算数が「数学」になり、社会の内容が「地理、歴史、公民」に、図画工作が「美術、技術」に分かれます。私は算数が苦手で、数学になると、前よりももっと難しくなると聞きました。もし、わからないところがあったら家でしっかり確認、復習をしたいと思います。そして、小学校で学んだことを生かして取り組みたいです。また、私は工作や絵を書くことが好きなので、小学校では経験できなかったことにも、チャレンジしていきたいと思います。

二つ目は部活動です。中学校になるとクラブ活動ではなく、部活動になります。私は今、「バドミントン部」が気に入っています。友人とバドミントンで遊ぶことや、小学校のクラブ活動でしか経験がなく未熟です。だから、部活動を通して今よりもっと上手になりたいです。

三つ目は、誰とでも仲良く、そして協力し合うことです。中学校にはさまざまな小学校の人が集まるので、クラスには初めて会う人がほとんどだと思います。そんな初めて会う人たちとも仲良くし、切磋琢磨していきたいです。そして、部活動のなかでも友達を作り、困ったときには助け合い、協力をして過ごしていきたいと思います。

これらのことを積極的に取り組み、これからの中学校生活を送りたいです。

在校生歓迎の言葉

在校生代表 藤原 翔蓮さん

春の暖かな日差しに包まれ、日野第四中学校の桜の花も美しく咲く季節となりました。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。みなさんが、四中生の仲間入りをしてくれることを我々在校生一同心待ちにしていました。

さて、皆さんは、入学するまでのどのようなことを思い過ごしてきましたか。「友達が作れるかな。」「勉強はついていけるかな。」というネガティブな考えを持っている人がいるかもしれませんが、反対に、「新しい学校生活が楽しみだ!」というポジティブな考えを持っている人もいます。私の場合はどちらかというネガティブなことを考えていた方で、「新しい学校生活だけど大丈夫かな。」と考えていました。しかし、いざ入ってみると想像とは異なり、今ではとても楽しく学校生活を送れています。学校生活を楽しく送れるようになった理由は、主に二つあると思っています。

まずは、挨拶です。

挨拶は四中の伝統です。この学校では生活委員会という委員会があり、月のはじめに挨拶運動を行っています。また、挨拶はコミュニケーションへの第一歩です。挨拶は有効的な関係を築いていくために必要なものです。ですから、初めて出会う人たちがいるからこそ、新しい友達を作っていくために、自ら挨拶をしていってください。

二つ目は、メリハリです。四中では、「泰花祭体育の部」や「泰花祭合唱の部」という行事があります。楽しむときは楽しんで、真剣に取り組むべき場所では真剣に取り組む。メリハリをつけてしっかり行事に取り組めば、楽しむことが増えるのではないのでしょうか。メリハリをクラス全体で行えば団結ができ、結果として、自分だけでなくみんなで成長が感じられると思います。

小学校生活と中学校生活は異なることが多いので、一つ目の挨拶、二つ目のメリハリをつけることを今すぐにやることは難しいかもしれません。ですが、まずは少しずつやってみてください。少しずつやっていくことでどんどん自分が成長でき、毎日楽しい学校生活が送れるでしょう。

他にも、中学校からは制服を毎日着て登校をしたり、みなさんが楽しみにしているであろう部活動があったり、教科ごとに授業を担当する先生が変わったりするため、もしかしたらギャップを感じるかもしれません。最初はなれないと思いますが、少しずつ中学校の生活に慣れていってください。

では、最後に一つ、もし、中学校生活でわからないことがあったら、皆さんの先輩方に気軽に質問をしてみてください。きっと優しく質問に答えてくれると思いますよ。そして今ここにいる三年生の皆さんにも一つ、新入生の皆さんに質問されることがあれば、ぜひ優しく答えてあげてくださいね。在校生一同、新入生の皆さんと協力してこの学校の輝かしい未来を創り上げたいと思っています。これからの学校生活を楽しくいきましょう。よろしくお願いします。